

利光三津夫

古代貨幣夜話

慶應通信

利光三津夫

古貨幣夜話

慶應通信

◇著者紹介

利光三津夫（りこうみつお）昭和二年三月 東京生
慶應義塾大学法学部教授

（主な著書）

『律令及び令制の研究』明治書院

『律の研究』明治書院

『裁判の歴史』至文堂

『律令制とその周辺』慶應義塾大学法学研究会

『続 律令制とその周辺』慶應義塾大学法学研

究会

『日本古代政治史』慶應通信

『律令制の研究』慶應義塾大学法学研究会

（住所）〒161 東京都新宿区中落合三一二六―三

乱丁・落丁のものは、お取替えいたします。

古貨幣夜話

昭和五十八年十月七日 初版第一刷

省 検
略 印

著 者 © 利光三津夫
発行人 道祖土廣一

定価 一九〇〇円
送料 三〇〇円

発行所 慶應通信株式会社

郵便番号 一〇八

東京都港区三田二丁目十九番三十号
振替口座 東京 九一五五四九七

古貨幣夜話／口絵

中元二年刻銘の銀鋌

劉鶚旧蔵の齊刀

劉鶚旧蔵の刀銭と古円法

西郷札（見本改）

玉製擬似貨幣

中元二年刻銘の銀錠

(伝山東地方出土)

全面に一しよに埋められていた銅器から移されたと思われる青錆が附着している。なおこのような例は、和同銀銭においてもみられるという。所掲の品は、青錆が刻印内にもみられ、刻印が、出土後、ほどこされたものでないことを語っている。

(第十八話)





劉鶚旧蔵の鐐刀

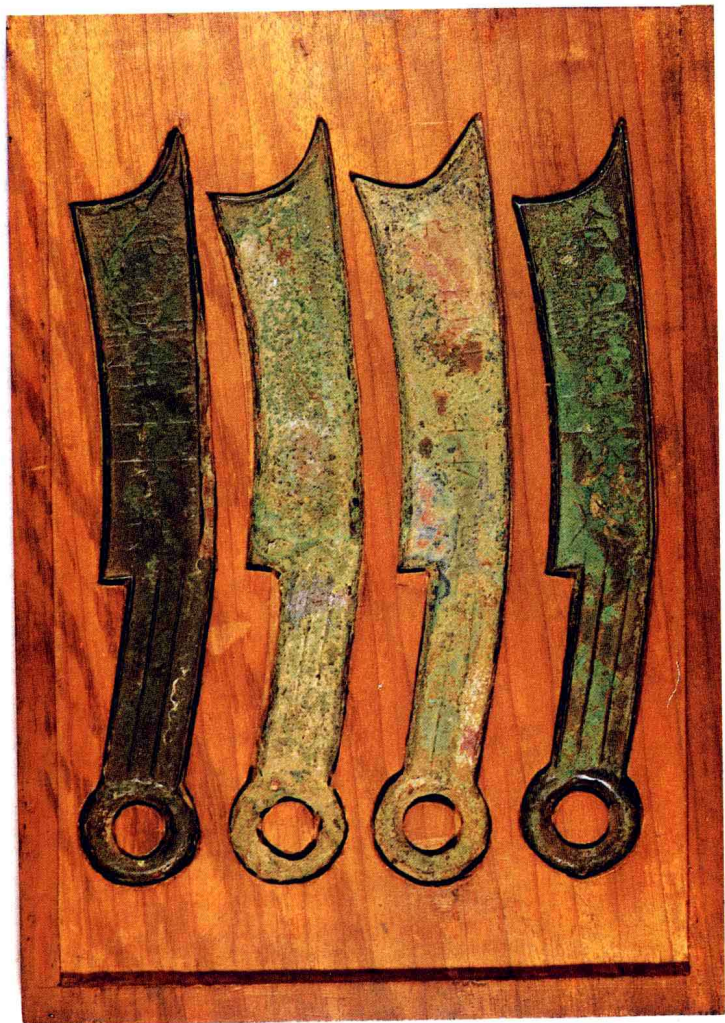
表面に「即墨之法貨」とあり、俗に五字刀とよばれている。その中、二本には裏に「大行」、「開邦」の文字がある。劉鶚は、清末の文学者。字を鉄雲、箱に刻されている「抱残守缺齋」は、彼の号である。

彼は、一八九九年、当時北京の薬店において、「竜骨」と称して売られていた甲骨に刻文がみえることに目をつけ、王懿榮とともにこれを調査し、それが太古の殷王朝に関係がある史料であることを発見した。彼は、はじめ医者となり、後、商業に転じたが、いずれも失敗し、最後には流刑となり、配所に死するという程不遇な一生を



送ったが、右の一事のみが幸して、甲骨文字学の歴史に名をとどめた。著書としては、『鉄雲藏亀』六冊がある。（『即墨力』については、関野雄『刀銭考』『東洋文化研究所紀要』三十五参照）。

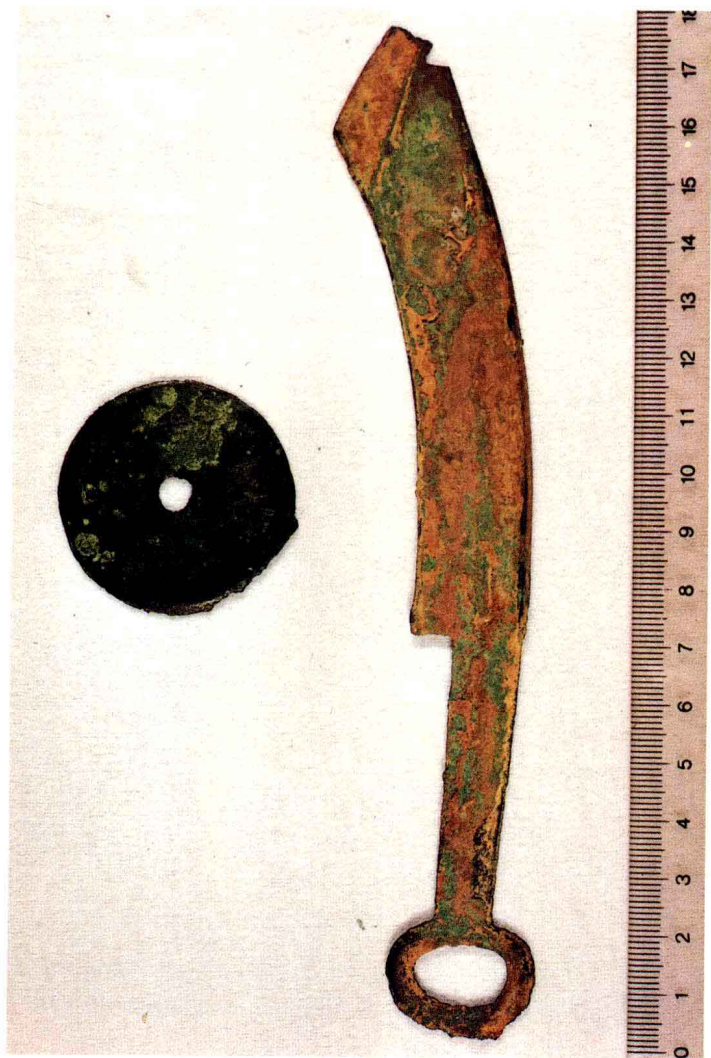
（第一話）



劉勰旧蔵の刀銭と古円
法

刀銭は、「東亜錢誌」に、これより小形のもの一品が掲載され、尖首刀に分類されているが不詳である。古円法は、「共屯赤金」銭。屯は「純」の省字で、「共で鑄された純良の銅銭」の意味といわれている（関野雄「先秦貨幣雜考」『東洋文化研究所紀要』二十七参照）。

〔第一話〕

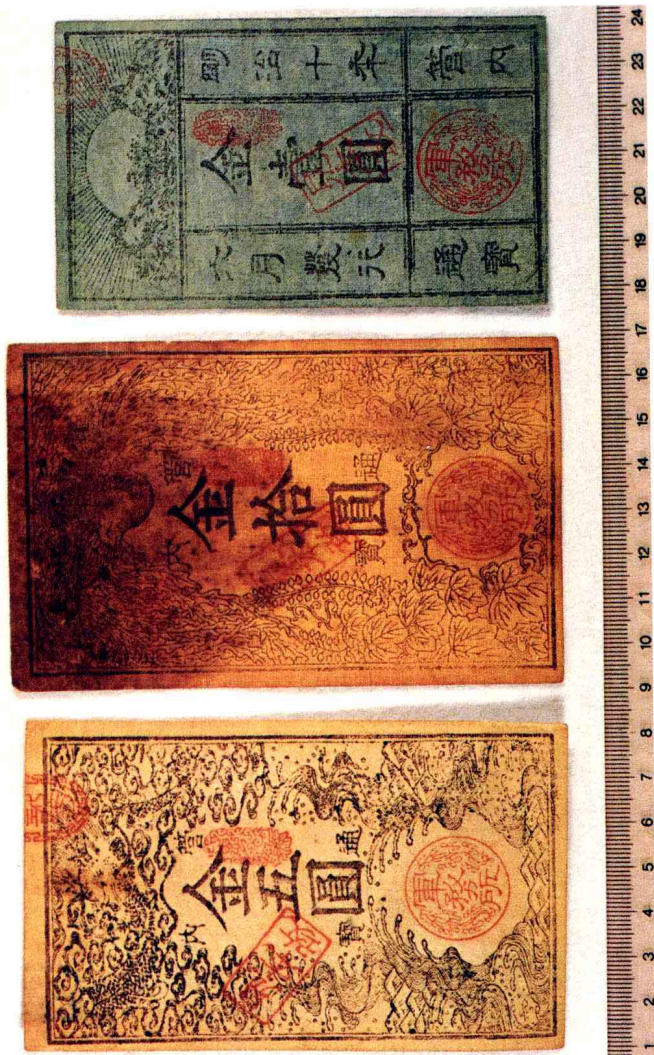


西郷札（見本改）

右から一円、十円、
五円。

よごれてはいるが未使
用である。表面の「見
本改」の印は、その朱か
らみて、製造時にうた
れたものと思われる。
なお、このような「見
本改」札としては、す
でに五十銭札が発見さ
れている。

〔第三十三話〕

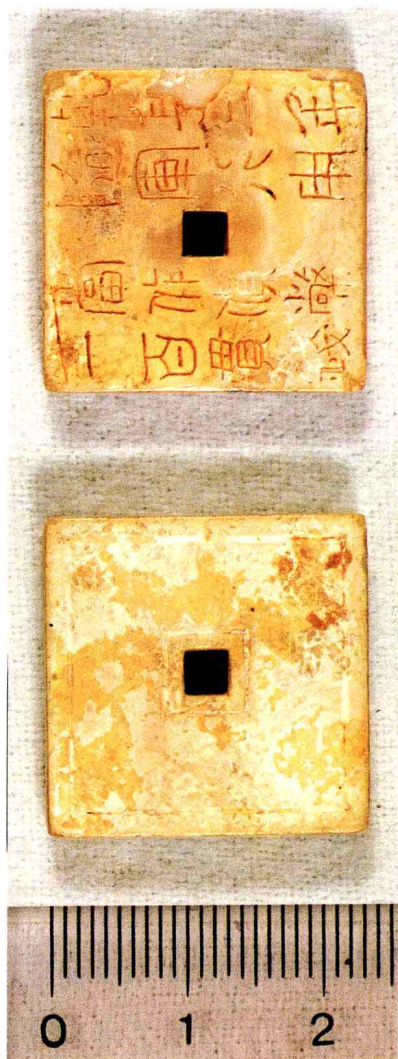


玉製擬似貨幣

(伝北朝鮮平壤出土)

一見して知られるように、いわゆる古玉である。しかし、硬玉が如何に宝石であったとしても、これ一つが「一百貫銭」とは、余りにも過大といわざるをえない。

(第三十四話)



目
次

口
絵

第一話	私の古銭集め	3
第二話	有難き顯宗通宝	7
第三話	商賈行布	11
第四話	銀錢九十二文古	16
第五話	耳をそろえて持つてこい	19
第六話	遣唐使と金	22
第七話	遣新羅使と金	25
第八話	珍宝論争	28
第九話	蓄銭叙位令の疑問	32
第十話	蓄銭禁止令	36
第十一話	押勝の三貨	41
第十二話	神功銭と神功皇后	47
第十三話	誕生記念銭（その一）	51
第十四話	誕生記念銭（その二）	55
第十五話	誕生記念銭（その三）	57
第十六話	誕生記念銭（その四）	60

第十七話	西域の銀錢	62
第十八話	中元二年銀錠の夢	65
第十九話	検非違使のおとり捜査	69
第二十話	仙台錢のたれ流し	73
第二十一話	仙台通宝、当銀一匁の怪	78
第二十二話	七兩二分	81
第二十三話	忠臣蔵と金(その一)	84
第二十四話	忠臣蔵と金(その二)	87
第二十五話	忠臣蔵と金(その三)	91
第二十六話	役人こそニセ金使い	95
第二十七話	薩摩藩渡唐銀一件	98
第二十八話	極印打洋銀	101
第二十九話	政宗の金銭	106
第三十話	三葉葵の一両金貨	109
第三十一話	銀小判二枚	113
第三十二話	真偽鑑定と多数決	118
第三十三話	見本改西郷札	121
第三十四話	玉製擬似貨幣のなぞ	125

第三十五話	事物博大	128
第三十六話	台湾民主国銀貨	133
第三十七話	スケープゴート萩原重秀（その一）	137
第三十八話	スケープゴート萩原重秀（その二）	141
第三十九話	盛岡藩と省錢	148
第四十話	眠狂四郎と金銀	151
第四十一話	絵 錢	158
第四十二話	闊化蝶	163
第四十三話	縄地金山調査記	171
第四十四話	劇的でない埋藏金の話	175
第四十五話	私鑄錢囚の出世	179
第四十六話	江戸期の私鑄錢	183
第四十七話	銀座の不正事件	186
第四十八話	銀座役人の不正	189
第四十九話	ニセ金銀と縁坐	192
第五十話	贋造貨幣をめぐる	196
第五十一話	維新の偽造貨（その一）	203
第五十二話	維新の偽造貨（その二）	208

第五十三話	板垣退助と偽造紙幣	213
第五十四話	後藤象二郎と偽造紙幣	219
第五十五話	藤田組贋札の話（その一）	223
第五十六話	藤田組贋札の話（その二）	229
あとがき		237

古貨幣夜話

